

新 中

掛川で地域部活始動へ

県内初 音楽、演劇、放送3分野

音楽や芸術に基づく文化教育事業を展開する「ふじのくに文教創造ネットワーク」(掛川市)が三十一日、同市で四月から中学生を対象に音楽、演劇、放送の「地域部活」を校外で立ち上げると発表した。芸術系の部活を民間団体が校外で子どもたちに提供する試みは、県内では初めて。ネットワークは二〇一〇年に発足し、掛川市など県西部で子どもたちに音楽を中心とした文化活動に触れる活動をしてきた。県は文化や芸術を他分野と協働させる「文化プログラム」を推進。ネットワークが企画した地域部活など十三事業を採択し、補助金を支給する。

地域部活には掛川市教育委員会も協力。元音楽教師や県舞台芸術センターの俳優らが講師となり、音楽、演劇、放送の三分野の幅広い活動を体験できる内容を予定する。活動日は週末を含む週三回を計画し、JR掛川駅近くの「掛川市美感ホール」を拠点とする。部費は無料だが、教材などの実費は負担する。

ネットワークの担当者「従来の文化系の部活では選択肢が少なく、子どもたちにもっと芸術や文化に親しむ機会があればと考えていた。教員の長時間労働の要因の一つとされる部活のあり方に一石を投じたい」と話している。

四月に入学予定の中学一年生を対象に部員を募集している。定員は三十人。参加対象地域は掛川ほか浜松、磐田、菊川、袋井、森の県西部の各市町。一次募集の締め切りは二月二十三日。応募は電話とメールで受け付けている。

問い合わせ、申し込みはネットワークへ
 0537(28)7380
 へ。(沢田佳孝)